

全身用固形シャンプー提案強化



遠藤 真人社長

テクノビューティーサプライ 3月中間売上高は微減へ

も髪がきしまない特長などから堅調な受注を継続。「固形ヘアシャンプー」の引き合いも増え続けている。

一、当社は基礎化粧品からシャンプー、カラートリートメント等のヘアケア製品まで多品種小ロット・フレキシブルな納期対応を強みにしており、都心から40分ほどの利便性の良い場所に本社・工場・研究室を備えている。開発技術面での

特長の一つである弱酸性透明石鹸は、肌へのやさしさと宝石のような外観が支持され、2021年に開発した固形ヘアシャンプーを経て、新たに全身用固形シャンプー「バー」に進化した。加

齢臭、年齢臭、ミドル脂臭等対策用の「バジション」もあり、身体に使用してもヌルつかず、潤い成分は残しつつシットリと洗い上げ髪に使用してもきしまない。①処方方に水を使わない②プラスチック容器が不要③髪だけでなく全身も洗える―等の特長があり、環境配慮やSDGsを重視するクライアントを中心に採用が広がっている。

一、現在、自社ホームページのニュースコーナーで、独自の開発処方を紹介するコンテンツを発信。今後も定期的に新しい提案処方を発信しクライアントの商品づくりに貢献したい。通期の売上高は前期比5%以上の増加を目指す。



(弱酸性石鹸)

テクノビューティーサプライ(埼玉県三郷市)の遠藤真人社長は2月26日(水)、3月中間期の見通しと今後の計画について大要次のように述べた。

一、当社は9月期決算で、2025年3月中間期までのOEM売上高は前年同期比微減で推移している。昨年10-12月の受注状況は好調だったが、通販市場の競争激化や店頭マーケットの活性化など環境変化もあり、年明け以降受注が鈍化している。そうした中でも、当社の高級シャンプー処方